

トグチファイリングシステム

取扱説明書

株式会社 **オフセック**



〒902-0061 沖縄県那覇市古島 1-25-6

TEL098(885)3121 FAX098(885)3122

Homepage: <http://ofsec.okimai.com/>

1. はじめに

このたびは、「トグチファイリングシステム(以下、TFS と称す)文書保存整理箱」「架台」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

2. 使用上のご注意

- (1) この文書保存整理箱は安全にお使いいただくため、上への積み重ねは 4 段までとなっております。また、キャスターを付けてご使用される場合は 2 段までです。
- (2) 文書保存整理箱の直置きは箱底部を破損、及び床を傷つける恐れがあり、また耐震対策上安全性にも欠けますので、架台を取付けてご使用下さい。
- (3) 火、水など、紙・電子保存媒体に害となるものを近づけないで下さい。製品及び収納物毀損の原因となります。
- (4) 腰掛、踏み台など、文書管理や収納以外の目的にご使用にならないで下さい。一部荷重が負荷され、製品に歪みを生じたり正常に連結しない恐れがあります。
- (5) 文書保存整理箱は平坦な場所に設置してください。水平な状態が保たれない場合、正確に連結しない恐れがあります。
- (6) 「棚」を形成する際には、上下・左右及び背面の連結フックがしっかりと確実にかけたかどうかをご確認下さい。連結していない場合や不確実な連結は地震時などに製品の倒壊原因につながる恐れがあります。
- (7) 設置の際に壁繋ぎ、床固定等の地震対策をお奨めいたします。詳しくは代理店にお問い合わせ下さい。
- (8) 回転フック(3 頁)はコイン等で簡単に連結し、回転フックストッパー(3 頁)のワンタッチで解除できますが、解除の際、フックの戻りで指を巻き込まれたりなどしないように十分ご注意下さい。
- (9) 回転フック(3 頁)を使用しない場合は、フックが本体に収納されているかを必ずご確認ください。フックが出たままですと、人体や衣類等に傷をつける恐れがあり危険です。また、回転フックは他の目的に使用しないで下さい。目的外における使用は、連結時の不具合につながる恐れがあります。
- (10) 文書保存整理箱を分離する際は、必ず回転フック(3 頁)を解除した状態で行って下さい。
- (11) 文書保存整理箱を持ち上げる際は、必ずハンドル(3 頁)を持って、落とさないようにお気をつけ下さい。なお、底部に手をかけた状態での持ち運び方は、人体または衣類に傷をつける恐れがありますので、絶対にしないで下さい。
- (12) ハンドル(3 頁)は両端をネジ留めされておりますが、ネジの緩みが生じてハンドル部が回転するような場合は、ハンドルが外れて本体落下の危険性がありますので、ドライバーな

どを用いてネジを締め直して下さい。

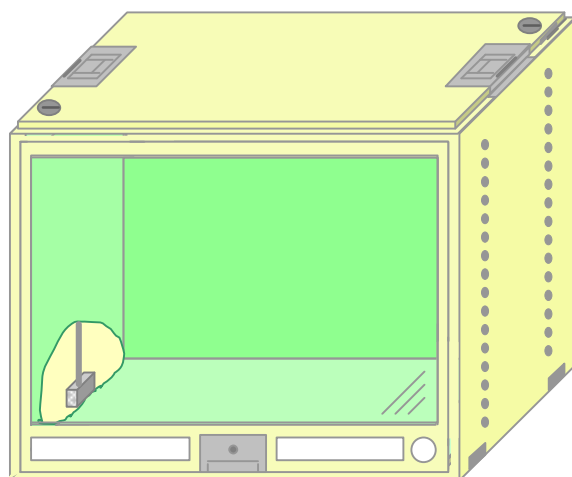
- (13) 中身が飛び出す恐れがありますので、移動の際は扉（3頁）が閉まっているかを確実に確認してからお持ち下さい。また、文書保存整理箱の底部や角をぶつけないよう注意して移動して下さい。
- (14) 扉（3頁）を閉める際、上から落とすような危険な閉め方はしないで下さい。しっかりと“カチャッ”と音になるまで手を添えるようにして閉めて下さい。
- (15) 扉（3頁）は開けたままにしないで下さい。扉を最後まで収納した場合でも本体前面に5cm出た状態になるため、ぶつかったりするなどして危険です。また、収納途中で、水平になった扉面を物受け台等として使用しないで下さい。
- (16) 鍵は付けっぱなしにしないで下さい。ぶつかったりするなどの危険や、紛失の原因になります。
- (17) 扉取っ手（3頁）の爪部（カチャッとロックする部分）はとがった部分があり、不用意な接触により人体または衣類等に傷をつける恐れがありますのでご注意下さい。
- (18) 文書整理箱側面の穴＝通気孔（3頁）に指を入れたり、物を入れたりすることは危険ですので、おやめ下さい。
- (19) 文書保存箱（3頁）は組立式構造で、外に出すと箱としては自立しません。このため、中に物が入ったままの状態引き出すような事は保存箱の壊れの原因や、落下による収納物等の破損につながるのをやめて下さい。文書保存箱（3頁）は単独では使用せず、必ず文書整理箱に収納してご使用下さい。
- (20) 文書保存箱（3頁）の蓋を下ろした状態で本体扉を開ける際に、もし開けにくい場合は、保存箱天板部を軽く押さえて下さい。また、閉じた蓋を開ける際に開けにくい場合は、保存箱底辺部分に指をかけ、上に押し上げるようにして下さい。無理な押し込み等による開閉は、保存箱の壊れにつながるのをやめ下さい。
- (21) 文書整理箱（3頁）のみではご使用にならないで下さい。整理箱の本体内側は金具等が露出しているため、保存文書等、収納したものが傷つく恐れがありますので、必ず、文書保存箱（3頁）を装填してご使用ください。
- (22) シャーシフレーム固定ボルト（4頁²³）は外さないで下さい。シャーシフレーム固定ボルトを外した状態でのご使用は、架台の強度を損なう恐れもあり危険です。なお、キャスターをご利用の際は、アジャスターの位置にお取付け下さい。

免責事項について

- ・ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いかねます。
- ・ 天災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いかねます。

3 . 名称と機能

1 - 1 文書保存整理箱(本体) 各部の名称



< 図 1 >

文書整理箱
文書保存箱
ハンドル
上下連結フック受け軸
回転フック
回転フックストッパー
中継テープ
上下連結フック
鍵穴
扉
扉取っ手
通気孔
ネームフォルダー()
ネームフォルダー()
ネームフォルダー()

1 - 2 文書保存整理箱(本体) 各部の機能説明

スチール製の外箱を指します。

箱内の環境を整えるため、月桃紙製中性紙の保存箱を装填してあります(標準装備)。納品時には天板面に蓋が収納されておりますが、TFS では引き出した蓋の表側にラベルシートなどを用いた簿冊名タイトルを貼り使用します。

移動時ハンドルを引き起こすことで上下連結を解除、設置時本体または架台に載せハンドルを戻すと連結します。

上下連結フックを受ける軸です。

溝にコイン等を差し込んで左右に回す事によりフックが出てきて、左右及び背面で連結します。

左右及び背面連結時回転フックを戻らないように固定します。またストッパーを押込むことにより連結を解除します。

ハンドルと上下連結フックを結ぶ上下連結機構の一部です。

ハンドルの動きに連動して、上下の連結と解除をします。

本体付属の鍵を差込み、左に回すと施錠、右に回すと開錠します。

扉取っ手を手前に引き、上に押し上げながら扉をスライドさせるようにして収納します。

指で押し上げ手前に引くと扉部が開き、扉部を下ろし押し込むと閉まります。

空気の流通を妨げず、空気がこもることを防ぐ役割があります。

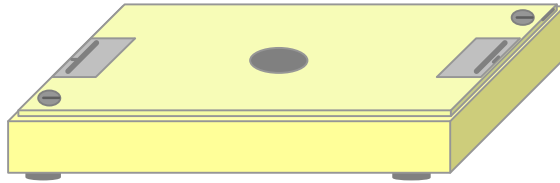
箱表示に使用します。TFS では、組織名・年度等のラベルを、扉内側から差し込み使用します。

箱表示に使用します。TFS では、組織・年度等に対し複合的記号を用いることで本体を識別する検索記号ラベルを差し込み使用します。

箱表示に使用します。TFS では、組織をカラー識別するカラーラベルを差し込み使用します。

2 架台 各部の名称及び機能説明

< 上部 >



< 図 2 - 1 >

床固定ボルト通し穴
回転フック
回転フックストッパー
上下連結フック受け軸

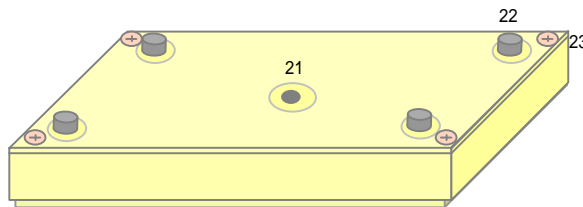
地震対策の時に、使用します。

溝にコイン等を差し込んで左右に回す事によりフックが出てきて、左右及び背面で連結します。

左右及び背面連結時回転フックを戻らないように固定します。またストッパーを押込むことにより連結を解除します。

上下連結フックを受ける軸です。

< 底部 >



< 図 2 - 2 >

シャーシフレーム
21 床固定ボルト穴
22 アジャスター(標準)
23 シャーシフレーム固定ボルト

架台の底板で、架台を底部から補強します。

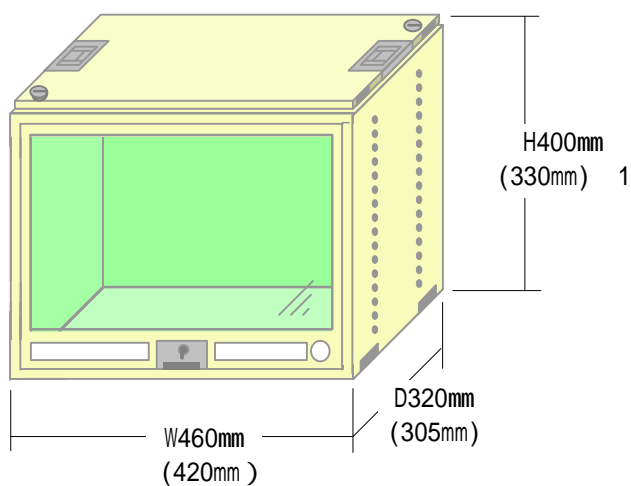
21 この穴を用いて、床アンカーと固定します(ボルト穴・径 12 mm推奨)。

22 水平調整用ゴム足です(標準装備、架台同梱(4個)、ボルト径 8 mm)。キャスター(市販品利用可、許容荷重 30kg 以上推奨、ボルト径 8 mm)をご利用の場合は、このアジャスターと取換えご使用下さい。

23 架台とシャーシフレームの固定ボルトです。(キャスター取付けの際にこの部分に間違っ取付けしないで下さい。)

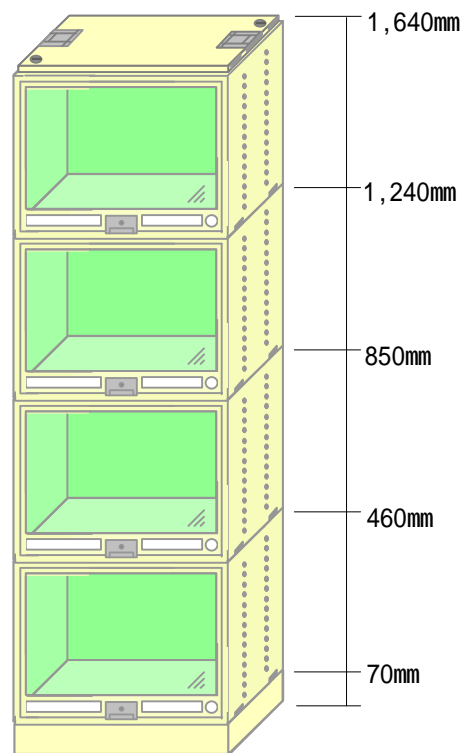
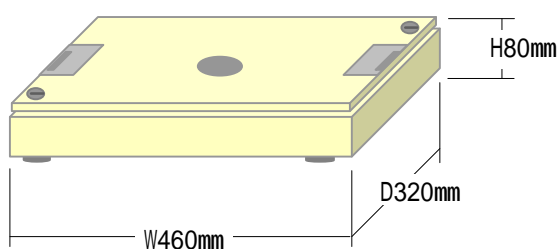
4 . 仕様

文書保存整理箱



架台

(標準装備のアジャスター仕様の場合)



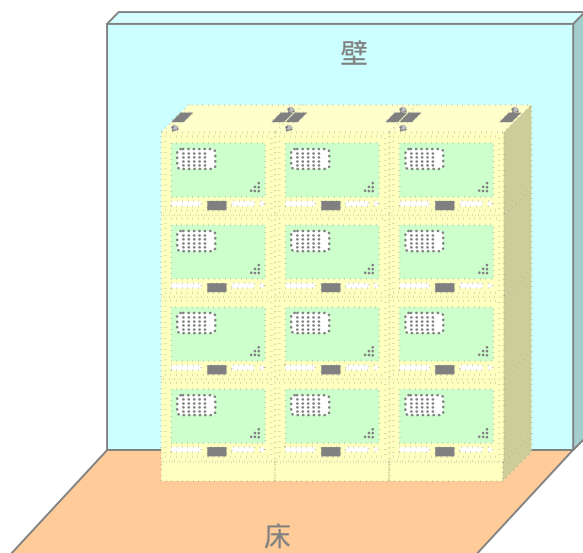
品名	品番	サイズ(mm)	材質	重量	内容物 最大重量
文書保存整理箱	BX-S	W460 D320 H400 (W420 D305 H330) 1	スチール (保存箱は月桃 紙製中性紙)	9 kg	1 台に付 15 kgまで
架台	BS	W460 D320 H80	スチール	5.5 kg	

1 カッコ内サイズは寸寸法

- * 1 文書保存整理箱設置の際には安全上、また耐震対策上、必ず「架台」と併せてご利用下さい。
- * 2 キャスターは、ボルト径 8 mm、許容荷重 30 kg以上タイプ (1 台に付き 4 個) をご使用下さい。なお、キャスター付の場合、安全上、連結は 2 段まででご使用下さい。

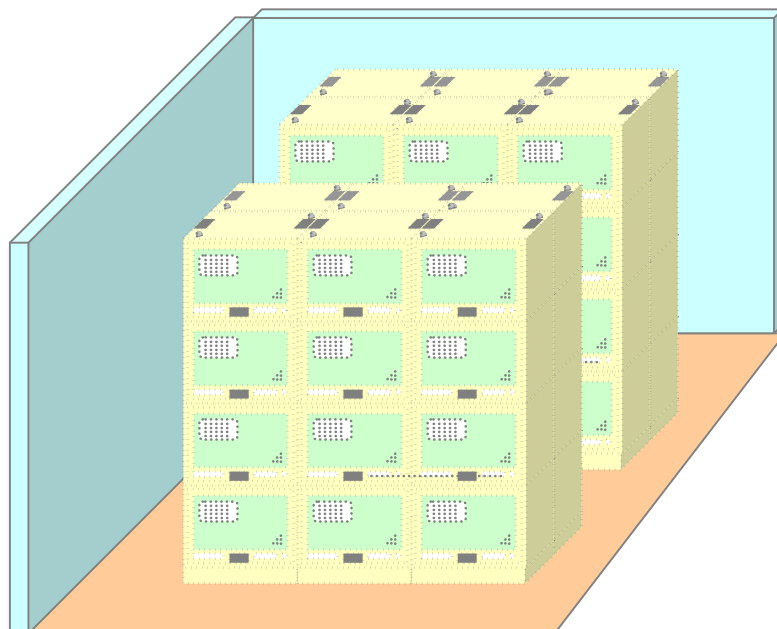
5 . 基本的な使用方法

左右連結



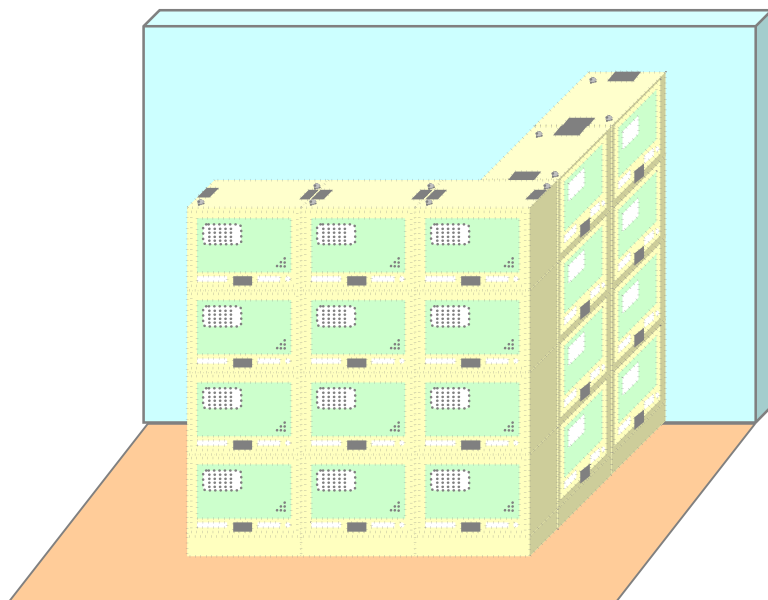
- * 壁固定・床固定により耐震安全性が確保されます。

背面連結



- * 背面連結は、壁・床固定ができない場合でも耐震上、効果的です。

L字連結



- * 連結機構を活かして、L字に組むなど、自由なレイアウトが可能です。

キャスター付き



- * 場所を移動しての活用にはキャスター付の使用が便利です。
- * キャスターは、標準装備の水平調整用ゴム足（アジャスター）とお取替え下さい。

6 . 保証書とアフターサービス

保証期間中故障した場合、保証記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書に「販売店名印」「お買い上げ日」が記入されているか必ずお確かめください。

部品の交換、修理のご相談などについては、お買い求めの販売店、または(株)オフセックにお申し付け下さい。

7 . 各地区の代理店

8 . 特許関連

特許取得

[米国]

DOCUMENT FILING CASE	PN. 5,251,772
CONNECTION STRUCTURE OF STORAGE COMPARTMENT	PN. US 6,840,378 B2

[日本]

文書保存整理箱	特公平 7-100397
文書整理箱	特許第 2074389 号
文書保存箱	特許第 2542548 号
文書の保存管理方法およびこの方法に用いられる文書保存整理箱	特許第 2549970 号
収納箱の連結構造	特許第 3760106 号
収納箱の連結構造	特許第 3806309 号

特許公開

[日本]

収納箱の連結構造	特開 2002-284168
箱体同士の連結具	特開 2004-262534
月桃抗菌紙とその製造方法	特開 2005-179811